

ひとりのため
みんなのため



大洲市

No.103 2013年8月号

社協だより

編集・発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

URL <http://www.ozushakyo.jp>
大洲市社協 検索

肱東中学校3年生 地域交流体験教室 「傾聴・コミュニケーション教室」



5月に実施した「認知症絵本教室」に引き続き、6月11日（火）、肱東中学校において3年生を対象に「傾聴・コミュニケーション教室」を開催しました。

教室では、地域活動支援センター くじら 幸田裕司先生を講師にお迎えし、他者の話を“聴く”という傾聴の技法を通してコミュニケーション力を高め、家族・地域との繋がり大切さについて考えました。



肱東中学校や自分たちの住んでいる地域の良いところや強みを友だちと話し合いたくさんみつけました。



友だちの良いところを書き合い、いつも接している友だちひとりひとりを見つめなおしました。また、「仲間から見た自分」を新たに発見することで周りとの関係も見つめなおすことができました。



コミュニケーションの雰囲気づくりのワークでは校長先生も飛び入り参加。緊張あり、笑いありで楽しく実践できました。

東日本大震災義援金募集期間の延長について

大洲市社会福祉協議会では、多くの市民の皆様から義援金の受け入れを行い、

総額は、**3,601,916** 円（平成25年6月28日現在）となっています。皆様のご支援ご協力、ありがとうございました。

いただいた義援金は、愛媛県共同募金会を通じて、被災地の復興支援のために寄付いたしました。なお、被害が甚大なことから、義援金受付期間を平成26年3月31日（月）までに延長させていただいております。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

愛ちゃん と 希望くん



平成24年度の事業報告と 収支決算をご報告します

相談活動

■心配ごと相談所の運営

日常生活の悩みや法的・介護問題に対し、専門的アドバイスをする事を目的に行いました。

※各支所も行っていきます。

(詳しくは6面に掲載)

- ・相談件数 228件
- ・相談者数 258名

■在宅介護支援センターの運営

在宅の高齢者及びその家族に対し介護に関する総合的な相談に応じ、市、サービス事業者等との連絡調整を行いました。サロン活動や地区行事に積極的に参加し、介護教室等を実施しました。

- ・相談件数 451件

介護保険事業の推進

■居宅介護支援事業の実施

要介護・要支援状態にある高齢者等に対し、介護支援専門員(ケアマネージャー)が可能な限り居宅において自

又内容の改善に努めました。

- ・月平均利用人数 延べ 1,446名

障害者自立支援事業

■障害者ホームヘルプ活動(居宅介護事業)の推進

身体・知的障がい者・障がい児(身体・知的)・精神障がい者に対して、入浴・食事・排泄の介護や、調理・掃除・洗濯等の家事、外出時における移動中の介護並びに生活等に関する助言、その他生活全般にわたる援助を行いました。

- ・月平均利用人数 22名

■同行援護事業

視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する方に外出時の移動を支援しました。

- ・月平均利用人員 3名

■難病患者等ホームヘルプサービス事業

難病患者等の家庭等に対して、ホームヘルパーを派遣し日常生活を支援しました。

- ・利用者数 1名

■地域活動支援センター運営事業

地域において、雇用・就労が困難な在宅障がい者に対し、機能訓練・入浴・食事・排泄等の介助を行いました。

- ・月平均利用人数 137名

地域支援事業

■生活管理指導員派遣事業の実施

要介護認定により介護保険対象外の高齢者に対し、調理・洗濯・掃除等の指導・支援を行い、基本的習慣の確立と要支援・要介護状態への進行予防を目的に行いました。

- ・月平均利用人数 9名

■高齢者デイサービス運営事業

要介護認定により介護保険対象外の高齢者に対し、通所による、入浴・食事・生活指導・日常動作訓練等のサービスを提供し、自立生活の助長を目的に行いました。

- ・月平均利用人数 96名

■外出支援サービス事業

ホームヘルパーが利用者宅と医療施設との間を送迎し、高齢者・障がい者等の在宅生活を支援しました。

- ・利用者数 75名

■軽度生活援助事業

日常生活の中で、介護保険のサービスや生活管理指導員派遣事業で対応できない支援を行いました。

- ・利用者数 8名

■福祉機器の貸出等

介護に係る経費の負担軽減のため、概ね65歳以上の高齢者等に福祉機器の貸与を行いました。

- ・ギャッチベット・車椅子等

■通所介護事業の実施

在宅の要介護高齢者に施設に通ってもらう、入浴・食事・排泄等の各種サービスを提供し、レクリエーションや機能訓練を行い、在宅生活の維持向上を図りました。アンケートを行いサービ

- ・月平均利用人数 25名

■訪問入浴介護事業の実施

入浴設備つき車で要介護者宅を訪問し、身体の清潔の保持や心身機能の維持等を図るため入浴の介助を実施しました。

- ・月平均利用人数 224名

■訪問介護事業の実施

要介護者宅にホームヘルパーを派遣し、食事、入浴、排泄等の身体介護や炊事、掃除等の生活援助を実施しました。

- ・月平均利用人数 322名

立した日常生活ができるように、総合的な利用支援を行いました。また特定事業所加算により、事業所全体のサービスの質の向上を図りました。

■ 独居高齢者緊急通報装置

緊急通報装置の管理、緊急時の初期対応にあたりました。

- ・ 安否確認 3,682件
- ・ 緊急時の初期対応 12件

■ 各種資金の活用促進

低所得者、高齢者、障がい者世帯に対し低利で利用目的にあった資金を貸し付けることも、必要な援助指導を行い、その世帯の経済自立と生活意欲の助長促進を図りました。

- ・ 貸付件数 19件

住民の主體的な福祉活動

■ 大洲市地域福祉サービス事業の推進

地域の福祉問題を、地域住民がお互いに協力して解決を目指す一つの手段として、事業を推進しました。

- ・ 会員数 657名

■ 小地域在宅福祉活動事業の実施

地区社協が実施主体となって地域ふれあい事業・独居高齢者のつどい・独居高齢者料理教室・在宅介護者のつどい等を開催し、一人暮らし高齢者等の支援活動を行いました。

■ ふれあい・いきいきサロン事業の活動支援

ボランティアがお世話人となり、身近な集会所等を利用して高齢者等の交流の場を設け、孤独感の解消や生きがい

づくりを目的に、支援を行いました。

- ・ サロン数 110カ所
- ・ お世話人交流会 市内4カ所実施

■ 日常生活自立支援事業の推進

(福祉サービス利用援助事業)

判断能力に不安のある高齢者や知的・精神障がい者に対し、介護保険等の利用援助や日常的な金銭管理等、福祉サービスを適切に利用するための支援と啓発を行いました。

- ・ 実施主体 県社協・大洲市社協 (事業の一部を県社協から業務委託)
- ・ 専門員 大洲市社協 1名
- ・ (調査、契約、支援計画の作成) 生活支援員 6名
- ・ (実際の支援、契約内容の履行補助)

ボランティア活動推進事業

■ ボランティアコーディネーターの活動促進

- ・ 各ボランティア講座の企画・実施、ボランティア活動の啓発
- ・ ボランティア活動の支援・調整
- ・ 大洲市ボランティア相談窓口開設

■ ボランティア活動・マンパワーの育成支援

- ◇ 点字・朗読広報発行事業
- 【協力】 点訳サークル「ひとみ」 朗読サークル「こころ」
- 大洲市広報・社協会報誌等の点訳及

び朗読テープ作成

◇ 大洲市ボランティア連絡協議会活動支援

◇ その他各種ボランティアイベント等の協力

■ ボランティア保険の加入促進

- ・ 平成25年3月末加入 個人保険 1,100名

福祉教育・啓発事業

■ 調査、広報活動の実施

- 会報「社協だより」発行
- ホームページによる情報提供

■ ワークキャンプの実施

市内の福祉施設の協力を得て、中高生を対象に3日間のボランティア体験学習を実施し、福祉活動に対する理解の深化に努めました。

- ・ 協力施設 7施設
- ・ 参加校 中学校 6校 高校 2校

強化・育成事業

■ まごころ銀行運動の推進

まごころ銀行は、地域住民の善意の預託を受けて、社会に還元して地域福祉事業に役立たせることを目的とした制度であり、その啓発推進に努めました。

- ・ 金銭預託

(一般預託) 45件

2,266,456円 (指定預託) 152件

6,177,932円 物品預託 7件

■ 共同募金活動の推進

◇ 実施期間 10月1日～12月31日

◇ 実績額 13,551,480円 (内訳)

- 戸別募金 6,447,800円
- 法人・大口募金 2,649,512円
- 学校募金 308,770円
- 街頭募金 135,495円
- 職域募金 522,767円
- イベント募金 151,920円

その他

■ 総合福祉センターの管理運営

- ・ 平成24年度利用件数 4,210件



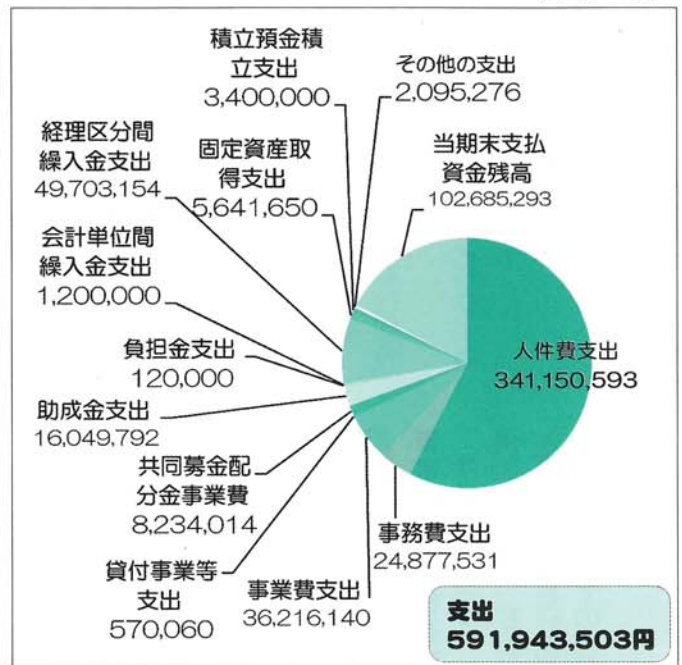
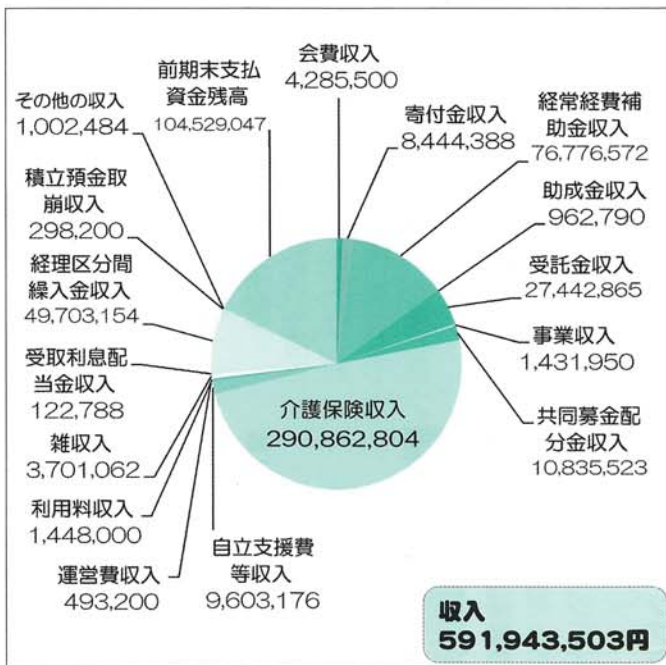
平成 24 年度 大洲市社会福祉協議会決算の概要

5月30日に理事会、評議員会を開催し、決算及び事業内容について承認を得ました。

<一般会計>

- ◇法人運営
- ◇訪問介護事業
- ◇まごころ銀行運営事業
- ◇委託・助成事業
- ◇通所介護事業
- ◇福祉サービス利用援助事業
- ◇共同募金配分事業
- ◇訪問入浴介護事業
- ◇福祉ボランティア基金運営事業
- ◇居宅介護支援事業

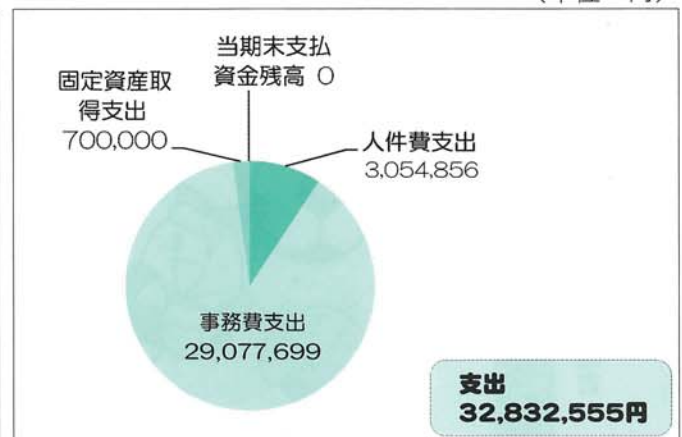
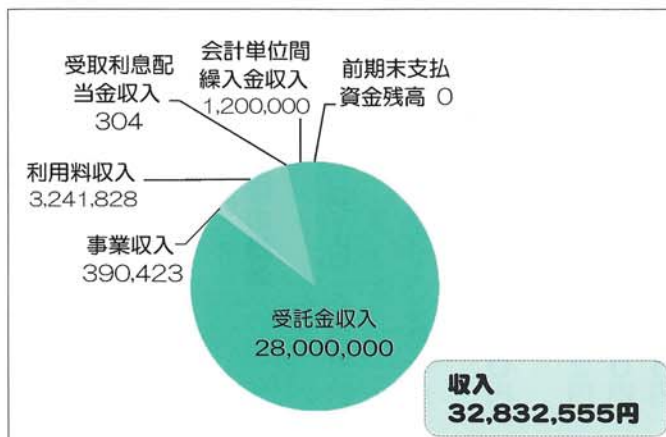
(単位：円)



<公益事業会計>

- ◇総合福祉センター指定管理運営事業

(単位：円)



まごころのおくりもの

5月分

金銭の部（一般分）

草莽の 一 蛭 様	大洲市
松田 稔子 様	若宮
吉田 和俊 様	新谷
ベレッツァ南予教室	
磯 兼 勝 様	松山市

（指定分）

《肱南地区社協へ》

森 永 茂 様	柚木
---------	----

《喜多地区社協へ》

松田 稔子 様	若宮
---------	----

《平野地区社協へ》

関 久香 様	平野町
--------	-----

《菅田地区社協へ》

(故)新 美代子 様	菅田町
泉 政文 様	菅田町
辻 幸壽 様	菅田町

《大川保健福祉協議会へ》

石岡 正規 様	森山
石神 久光 様	蔵川

《八多喜地区社協へ》

大塚 嘉宏 様	手成
高井 節子 様	八多喜町

《上須戒地区社協へ》

芝田 実加 様	上須戒
岩本 方克 様	徳島市

《肱川地区社協へ》

山内 優 様	肱川町
--------	-----

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

お問い合わせは
大洲市社会福祉協議会
地域福祉係まで

■このコーナーは、白岩チツ子先生に担当していただいております。一般・施設・学生さんからの応募、大歓迎です。みなさんからの便利お待ちしております。

ご案内



桃太郎工房 夏祭り

大洲育成園では、桃太郎工房夏祭りを開催いたします。各種バザー、フリーマーケット、踊り、お楽しみ抽選会等を用意して皆様のお越しをお待ちしております。是非ご来場ください。

尚、夏祭りでのボランティアを募集しております。ご協力頂ける方は、連絡をお願い致します。

記

- 1. 実施日 平成25年8月10日（土）
午後6時～午後8時40分
- 2. 場所 大洲育成園グラウンド
（雨天時は屋内で実施）

<連絡先>

大洲育成園 TEL (0893)25-5251 担当/池田まで

俳句ひろば

足し算を少し覚えて入学す

岩本 富良

評
お孫さんでしょうか。頼もしい限りです。大きく育ってほしいものです。



桜咲くと孫の声なり胸熱し

川野 栄

評
桜ほど人に待たれる花はないでしょう。まして孫の声での桜。子から孫へ命はつながってゆきます。

語らひの楽しき桜月夜かな

鶴岡 ユリ子

評
桜月夜という大きな舞台があるのですからそれはそれは楽しい語らいであったでしょう。

**第3回
朗読サークル「こころ」**
会長 今井 ヒロ子

今年度リスナーさんとの交流会の写真。今年は活動二十周年ということでサークルのOB・OGの方々も招いて盛大に開催できました。

**おおずのボランティア
紹介コーナー**

ここでは、大洲市でがんばっているボランティアを紹介していきます。



《どの様な団体ですか?》

サークルこころは、視覚障がい者の方に対し朗読(音声訳)ボランティアを行うグループで、今年活動二十周年を迎えました。現在、会員二十名。総合福祉センター録音室において、毎月五回視覚障がい者の方にお届けする朗読の録音をしています。朗読の内容は、行政の広報誌や小説のほか、生活の知恵といったものもあります。また、毎年一回、朗読をお届けしている視覚障がい者(リスナー)の方々との交流会も開催しています。その他、市内の幼稚園、小学校、中学校へ「読み聞かせ」にも伺っています。

《活動のきっかけ・推移》

最初は点訳ボランティア活動をしていましたが、中途視覚障がい者の方は点字が読めないことに気が付きました。そこで、現会長ほか一名が、平成四年に当時松山市で開催されていた朗読講習会を受講しました。

大洲市で本格的に活動を開始した当時は録音室も機材もなく、市役所別館などをお借りしてのスタートでした。

その後、朗読ボランティア養成講座の開講、朗読の録音媒体がカセットテープからCDに移行する

時代の流れに伴ってパソコンの導入など様々なことがありました。平成二十四年には厚生労働大臣表彰を受賞し、とても励みになりました。

《活動の楽しみ・魅力》

リスナーさんの情報収集の手段として貢献できることが大きな喜びです。

リスナーさんから朗読についてのご意見や感想を聞かせて頂く度により良い録音物をお届けできるよ切琢磨して向上して行くことも楽しみます。

今年のリスナーさんとの交流会では、「こころ」さんのCDが届くのをいつも楽しみに待っています。CDが届いたら他の用事を放っておいてもテープを聞きます。その時間は誰にも邪魔されたくないのにお客さんにも来て欲しくないので「お客さんにも来て欲しくないので「お客さんにも来て欲しくないので「お客さんにも来て欲しくないので「お客さんにも来て欲しくないので」など、たくさんありがとうございます。」「など、たくさんありがとうございます。」

《思い・メッセージ》

私たちの朗読は、文字を音声に変えてお届けする「音声訳」です。文字を読むだけでなく、「こころ」もお届けする「心」と「心」の架け橋だと思っています。

この思いが通じた時は、無常の喜びを感じます。

心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会(本所)	【一般相談】毎週月・水 【介護相談】毎週金 【弁護士法律相談※要電話予約】毎月第1・3火(8月6日と8月20日) 【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火および毎週木 大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※祝日を除く
長 浜 支 所	8月23日(金)大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
肱 川 支 所	8月 5日(月)大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
河 辺 支 所	8月12日(月)大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
お問合せ先	本 所 ㉞23-0313(代表、弁護士相談予約) ㉞23-5629(相談室直通) 長浜支所 ㉞52-1194 肱川支所 ㉞34-2312 河辺支所 ㉞39-2510